



優秀賞 (総合部門)

タイトル 真っ赤なセブンに乗るお父さんのリフォーム

タイプ 持家一戸建

講評

やりにくい事も多いプレハブ住宅のリフォーム。模様替え中心で工事費も抑えている。杉板張りの円形天井が居間と食堂を一体に感じさせる魅力的な設え。真っ赤なセブンの入ったガレージ写真も見なかった。

リフォーム前後の写真



A



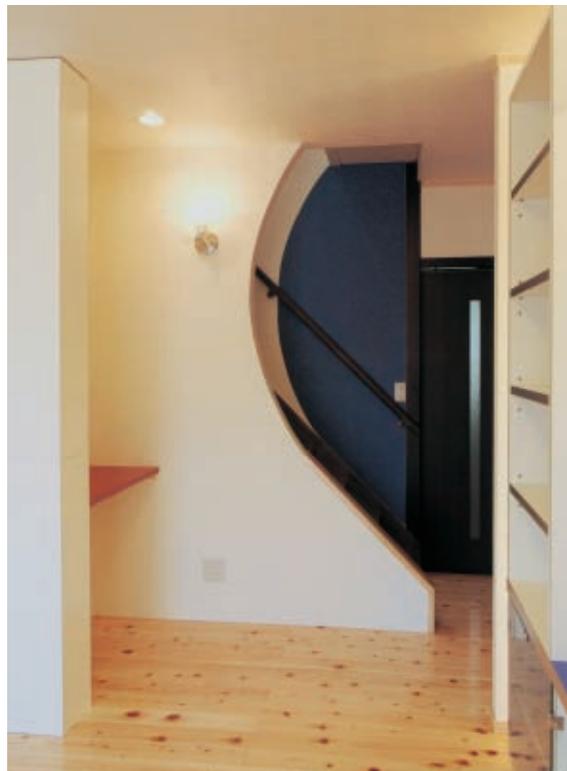
B



C



D



E



F



G

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など

木質系プレハブの構造なので、撤去してはいけない壁パネルを確認し、その壁パネル(青色で矢印をしている壁)を生かして間取りを考えました。和室は生活上利用されないとの事なので、リビングと和室の間仕切り壁は撤去し、ひとつのフロアにリフォーム。天井は杉板で曲線を描き、全体の天井より少し段差を付けポイントになるようデザインしました。床の間だった壁一面は創り付けの家具を配置。家具三方向に間接照明を取り付け、家具全体が浮き上がったように魅せています。夜はこの間接照明だけで十分な明るさがとれるよう照度計算しました。

竣工後、お伺いした時にはソファが置かれていて、休日には家族みんなで映画鑑賞をされるそうです。

特に配慮した住宅性能：

データ

所在地	高知県南国市	構造/築後年数	木質系プレハブ 造/ 17 年
該当工事面積	52 m ²	該当部分工事費	500 万円
居住者構成	4 人 (大人<15歳以上)	2 人 子供	2 人 ペット
設計者	(株)光テック	担当者	夕部 美子
施工者	同上	担当者	

リフォーム前

リフォーム後

